

MSイメージング Webinar

DAY 2 | マルチモーダルイメージングが拓く植物-微生物のせめぎ合い

2024. 10.17 [THU] 14:00~15:00

Zoom ONLINE | 参加無料

お申し込みはコチラから (先着500名)

<https://www.an.shimadzu.co.jp/news-events/2024/202410/msimaging2.html>



MSイメージングは、分子の分布を高解像度の画像で見ることができる技術で、生命科学の分野で様々な応用が期待されています。本Webinarでは、龍谷大学の別役先生から、植物と病原体の相互作用についてMSイメージングと蛍光顕微鏡のマルチモーダル分析をご紹介します。また、弊社からは、Q-TOFを軸に2つの分析法 (MSイメージング、PESI*-MS) を組み合わせた水仙中のガラントミン解析例をご紹介します。植物研究におけるMSイメージング活用事例から、みなさまの研究に新たな可能性を感じていただければ幸いです。

*PESI (Probe Electro Spray Ionization) : 細い針で微量の分析対象物を採取して、高電圧をかけてイオン化する手法



こんな方におすすめです！

- MSイメージング、PESI-MSで何ができるか知りたい方
- マルチモーダルイメージングに興味がある方
- MSイメージングを含む多面的な分析がしたい方

特別講演

植物-病原体相互作用をマルチモーダルに捉えて理解する 龍谷大学 農学部生命科学科 別役 重之 先生

遺伝子発現は生命現象を司る鍵ですが、実際に生命活動を駆動するのはその結果として生じる物質です。植物免疫を担う抗菌化合物に着目し、その合成遺伝子活性化と化合物そのもの、さらには関連元素の蓄積の可視化により見出された、植物と病原体のせめぎ合いの一端をご紹介します。

講演スケジュール

14:00 ~ 14:35	特別講演	植物-病原体相互作用をマルチモーダルに捉えて理解する
14:35 ~ 15:00	島津講演	MSイメージングとPESI-MSを組み合わせた水仙中のガラントミン分析のご紹介

お申し込み

下記URLのWebページにアクセスし、必要事項を入力の上、お申し込みください。
お申込み後、受付メールが自動配信されます。

<https://www.an.shimadzu.co.jp/news-events/2024/202410/msimaging2.html>

お問合せ：島津製作所セミナー事務局 an_seminar@group.shimadzu.co.jp

※ご提供いただいた個人情報は、展示会・学会・セミナーや新製品等のご紹介、各種情報提供に利用させていただきます。また、講師の方と共有します。
詳細は下記 URL の弊社 Web のプライバシーポリシーをご参照ください。
<https://www.shimadzu.co.jp/attention/privacy.html>

※本Webinarにてご紹介する製品は、医薬品医療機器法に基づく医療機器として承認を受けておりません。治療診断目的およびその手続き上での使用はできません。

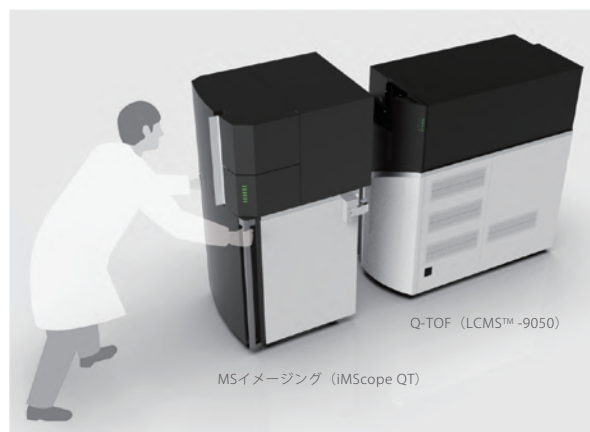
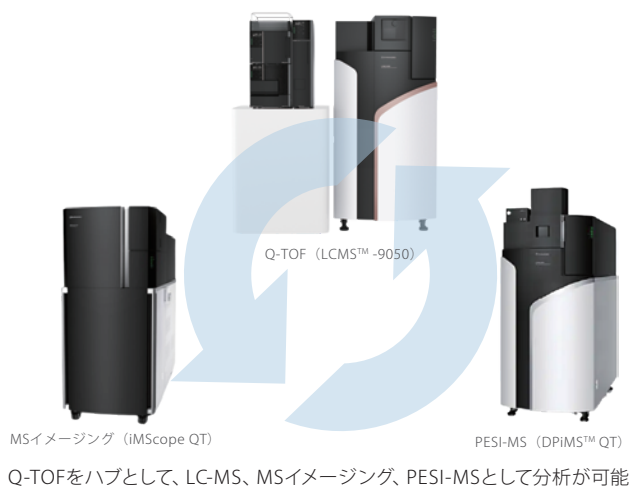


島津講演

MSイメージングとPESI-MSを組み合わせた水仙中のガランタミン分析のご紹介

本講演では、ガランタミンの画期的な分析方法を紹介します。ガランタミンは植物由来のアルカロイドで、食中毒の原因として知られる一方、アルツハイマー型認知症の治療薬としても利用されています。この治療薬の主成分が植物から抽出されるため、製薬業界ではガランタミンを多く含む植物種の探索と生産性の向上が求められています。本分析では、探針エレクトロスプレーイオン化法 (PESI*) を用いて、日本水仙からガランタミンを迅速に検出します。その後、LCMS Q-TOFのインターフェース部をiMScope QTに交換し、MSイメージングを活用してガランタミンの分布を詳細に解析します。この手法により、ガランタミンの効率的な検出と分布解析が可能となり、製薬プロセスの効率化と生産性向上に繋がることが期待されます。

*PESI (Probe Electro Spray Ionization) : 細い針で微量の分析対象物を採取して、高電圧をかけてイオン化する手法



iMScope QT は、Q-TOF に対して、簡単に着脱が可能

MSイメージングWebinarシリーズ

DAY 1 2024.7.17 [WED] 終了 エキスパートが魅せるMSイメージングの世界

DAY 3 2024.12.17 [TUE] 開催予定 薬物動態MSイメージング